



# 経年による色変化と変色レポート

ウッドロングエコは着色塗料ではないため一度活着すれば流れません

屋外で木を使う場合、経年による色変化は施工環境や条件により異なります。紫外線や雨水、土埃、動物の糞尿や金属製品による反応など様々な要因が影響します。自然現象の一種なので変化は一様ではありません。

リノベーション完成時：第1段階



経年7年：第2段階



経年10年：第3段階



経年13年：第4段階

## 自社実験：13年目の報告 色変化レポート(無垢材の特性)

築80年の家をリノベーションして約13年  
一度も修繕せずに過ごしています。  
風雨や陽に晒されたウッドロングエコ仕  
上げの杉の外壁は、自然に色味が変化し  
すっかり地域の風景に馴染んできました。

### 第1段階 / 光変色化期

光で変色する初期段階は、赤味が減り黄味  
が増す傾向にある

### 第2段階 / 明・淡色化期

明・淡色に至るまでの期間は、環境によって  
変化が異なり、陽当たりや雨が多い場合は  
2~3ヶ月で明・淡色化するが、軒天など雨  
がかりがほとんどない環境では、第一次段  
階より褐色が深くなる

### 第3段階 / 灰色化期

第2段階の明・淡色化しつつある材の表面に  
大気中の土埃やカビをはじめ様々な物質によ  
り黒系の色味が加わり灰色になる時期



短い庇下の一部分のみ色褪せる



金属サッシの下部によくできるシミ  
金属を通った雨などにより木のアケが流れ変色



庇により雨があたらない外壁の部分は色味が濃く  
なり、下部は雨の跳ね返りで白く変色



金属製の雨樋を通った雨と木材が化学反応したシミ

### 第4段階 / 凹凸化期

木表面が雨水や砂塵などに侵食され、年輪の  
夏目部分が痩せ、冬目が立って表面に凹凸が  
表れ、やがて浮造になる

経年変化をビンテージと  
して楽しみ、窓枠に「赤」  
を塗布



## ヒノキに塗ったけど、あまり色 が変わらないのは何故？



油分が多いヒノキのウッドデッキに塗布し1ヶ月経過した例

ヒノキ、マツ類の木材は、ウッドロングエコ  
の水溶液を弾いて浸透しにくいため、丁寧  
に刷毛をまんべんなく押し付けながら3度  
塗りし、天日によく当ててください。  
ウッドロングエコの発色には30日以上かか  
りますので、工期には十分の余裕をみて  
ください。

## 猫のオシッコで色が抜けた！ 対処方法を教えて？



猫のオシッコのシミ

鳥の糞によるシミ

ウッドロングエコは着色塗料ではないため、  
環境や状況により色変化が生じます。  
対処方法はデッキブラシなどでよく水洗い  
して再塗装するか、場合によりサンダーな  
どで薄く削って再塗装すると、数ヶ月で色  
抜けが目立たなくなります。  
鳥の糞などの小さな色抜けも同様です。

## 経年色変化の参考例、店舗や 公共事業等の事例を知りたい



経年による色変化



公共施設事例



店舗事例



リノベーション  
文化財修復事例